

要請番号 (JL06624A15)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
スリランカ	C103 野菜栽培	20～45 歳のみ	個別	新規	2年	・ 2024/3 ・ 2025/1 ・ 2025/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

スポーツ・青年省

2) 配属機関名 (日本語)

国家青年活動評議会 (バタンガラ・トレーニングセンター)

3) 任地 (ケゴール県バタンガラ) JICA事務所の所在地 (コロンボ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 2.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、青少年の健全育成を目的に設立された職業訓練センターであり、全国に系列校が設置されている。配属先には、野菜コースをはじめ、土壌肥料、家畜飼育、自動車整備など5コースがある。生徒数は約150名であり、年間予算は約100万円。また、配属先で育てた野菜等を販売し、収益の一部を学校運営に利用している。これまで、1980年代～90年代初旬にかけて野菜や家畜飼育、自動車整備等のJICA海外協力隊計12名の派遣実績がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

スリランカでは、総人口の約27%が農業活動に従事しているが、経済発展と共に農業従事者は減少傾向にある。特に若者層の農業離れは深刻な問題となっており、農業人材の育成が喫緊の課題となっている。配属先の野菜栽培コースでは、農業に関する基礎知識(国家資格(Level3))の学習、圃場を利用した農業実習を行っている。本件で派遣されるJICA海外協力隊は同コースの教員として、同僚が実施する授業のサポート、農業実習における効果的な栽培方法(有機野菜栽培含む)に関する指導を行う。また、同コースにおける課題・改善点等を配属先にフィードバックし、授業の質の向上に貢献することも期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

JICA海外協力隊はセンター長、同僚と協力しながら、以下の活動を行う。

- 同僚と共に生徒に対する農業指導(有機栽培含む)を行う。(ジャガイモ、大根、ニンジン、かぼちゃ、豆など根菜 果菜類が主な栽培種目)
- 日常業務を通じて、同僚に対し知識・技術の共有および助言を行う。
- スリランカにおける農業の知識・方法を学び、課題等を把握し、配属先へフィードバックする。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

PC、コピー機、ハンドトラクター、農具一式、実習圃場(約5ha)、教室および講堂(100人収容可)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

センター長(50代、男性)

講師 6名(20代～50代、男性)

活動対象者:

野菜コース生徒数(17歳～25歳) 約50名

5) 活動使用言語

シンハラ語

6) 生活使用言語

シンハラ語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(日本農業技術検定3級以上)

[学歴]：(大卒) 農学系 備考：同僚の教育水準と合わせるため

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：専門的な知識・経験を要するため

[汎用経験]：

- ・播種から収穫までの栽培経験を2作物以上
- ・野菜栽培農業実習180時間以上

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(熱帯雨林気候) 気温：(22～34℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

住居は、訓練センター敷地内にある教員用住居になる可能性が高い。
日によっては、1日1～3時間ぐらいの停電が発生する。